

「農村社会と女性」：国際開発とジェンダー (不破担当分)

1. はじめに

- 自分のこと：
- 大学時代にやること：

2. 経済発展とは何だろう？

- 世界の国民所得格差、GDI
- 経済発展とはその社会の人々の自己実現機会の拡大を伴うものであるべき。経済成長 (=所得の増加) と同じではない。
- 具体的には? : お金 (栄養、健康、教育、余暇を楽しむ等の資源として)、学校 (自己実現に大事、職業選択肢の幅を広げるのに著しく重要、労働生産性を高める)、公共サービス (公教育、公衆衛生、等 → 貧富に関係なく自己実現のための手段がえられる為に重要)、交通インフラ (遠隔地に住む人にも自己実現の機会を与える)、金融 (誰でも事業を始められる、グラミン銀行の例)、余暇時間
- 従って、所得の増大は、経済発展の手段として重要。所得水準と経済発展の一般的な相関関係。「貧しくても豊か」? .
- 所得水準が高くても「経済発展」が遅れている例：人種問題、日本の男女差別
- いくつかの基本用語、多様な立場・見方、自分の立場
 1. sex (biological) vs. gender (social, cultural) (cf. race)
 2. gender equality vs. gender equity
 3. 機会の平等か結果の平等か? :
 4. 目的か vs. 手段か?
 5. 'western' vs. 'southern' feminists—challenging the idea of women as 'victims.'
 6. 「メインストリーム化」か「特別扱い」か? (c.f. affirmative action)

3. 「消えた1億人の女性達」(Amartya Sen、他)

- 7つの不平等：
 1. 死亡率の不平等
 2. 出生の不平等
 3. 基本的社会サービス享受の不平等
 4. 社会的機会の不平等
 5. 専門職の機会不平等
 6. 財産保持の不平等
 7. 家庭内での不平等
- インド vs. 中国 vs. インド・ケララ州
- ニューヨーク市内・ハーレム地区 vs. バングラデシュ

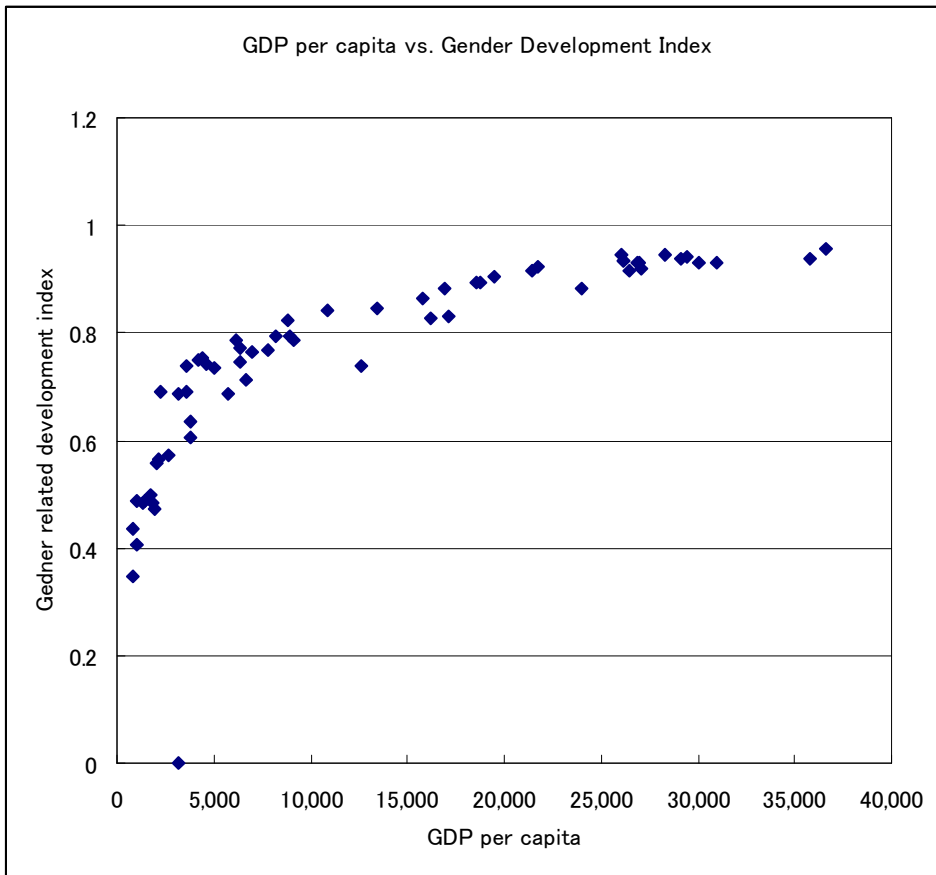
- 人口統計の男女差からわかること
- 人口統計の男女差からわかること：通常出生時点での男女比=男子が若干高い・流産確率は男子の方が高い→男子の高死亡率→成人人口=男女ほぼ同数？ だが、

国	女子/男子比率 (男子人口100に対して)	女子/男子比率が102.2だった場合に比べて不足している女性の数
欧米	105	—
サブサハラ・アフリカ	102.2	—
中国	94	4400 万人*
インド	93	3700 万人*
インド・ケララ州	106	—
エジプト	97	175 万人**
イラン	97	184 万人**
バングラデシュ	95	513 万人**
トルコ	95	242 万人**
パキスタン	93	685 万人**
サウジアラビア	84	93 万人**

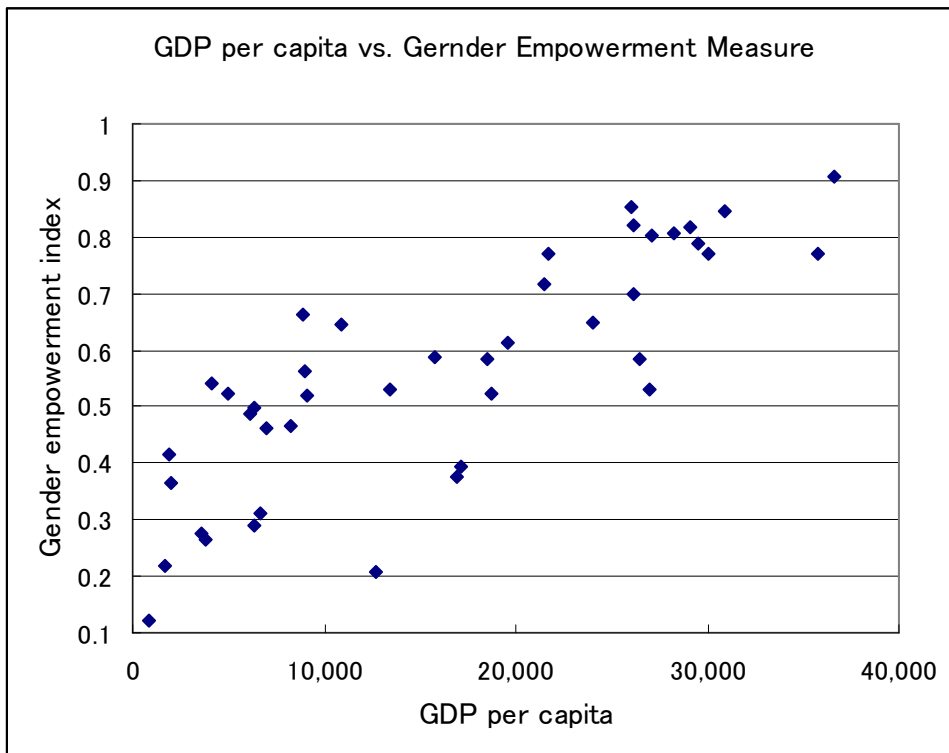
*: Sen による推計値 **: 2002 年参考値

- ➔ どうやって1億人以上の女性は「消された」のか？
- 乳児殺害（「間引き」）？
 - 各家庭による食料摂取の男女差別：例えば、食料価格の変動は女子の食料摂取量により大きく影響する傾向
 - 各家庭による疾病時の受診の扱いに男女差別：例えば、ムンバイ（ボンベイ）の病院の記録から
- 「家庭内資源配分」問題と「バーゲニングモデル」の含意：

4. 経済成長の妨げとしての男女差別（手段としてのジェンダー問題?）（World Bank 2000、ほか）
5. 「貧困の女性化」と「女性世帯主世帯数」の増加？——女性世帯主世帯の貧困問題
 - 「貧困の女性化」の主張：UNDP
 - 「女性の貧困」問題と「女性世帯主問題」の違い（Fuwa 1999）
 - 女性世帯主世帯の貧困問題1：ロジック—女性世帯主世帯の3つの重荷ほか—
 - 女性世帯主世帯の貧困問題2：定量的実証研究
 - 女性世帯主世帯の貧困問題3：定性的実証研究
6. フィリピン人「エンターテイナー（じゃばゆきさん）」をどう見るか（Fuwa 1999, Fuwa and Anderson 2003）
7. ジェンダー格差解消を目指す政策実践例——男女の就学差を巡る問題と世界銀行他によるバングラデシュの女子中等教育奨学金プログラムの事例（World Bank, Fuwa 2000, Khandker, Pitt and Fuwa 2003）
 - 子弟教育の真のコストとは（時間の機会費用の概念）
 - バングラデシュ女子中等教育奨学プログラムの概要
 - そのインパクト
8. ジェンダー格差解消を目指す非政府運動の実践例——ムハマド・ユヌス博士によるバングラデシュ・銀行の試みと定量的インパクト評価の事例（ユヌス・ジョリ、Khandker 2000, Khandker and Pitt）
 - なぜグラミン銀行か？
 - グラミン銀行の家計レベルインパクトの定量評価の結果
 - ムハマド・ユヌス博士の歩み、他（ビデオ）



Components of Gender related Development Index:
 life expectancy at birth; adult literacy rate; school enrolment ratio; estimated earned income.



Components of Gender Empowerment Measure:
 Seats in parliament held by women; female legislators, senior officials and managers; female professional and technical workers; ratio of estimated female to male earned income.
 [source: United Nations Development Programme (UNDP)]